

美藤 和広 議員

市民の会



平野 管子 議員

公明党



佐貫 尚子 議員

新政みらい



白井 和弥 議員

盟政会



防災

豪雨水害！市民情報で、迅速な把握と対策を！

議員 近年の豪雨水害は、他人事ではなく、三田でも冠水・浸水している。市民の映像や情報をSNSなどで受け入れ、統合型地理情報システム(GIS)に一元化集約し、早急な対応を。

市 SNS等で市民情報を受け、GISに統合を調査・研究

速報性や画像情報など災害対応時に有効と考え、SNS等を活用した市民からの情報収集の仕組みづくりを早急に進める。

国の官民データ活用推進基本法を受け、市のICT推進計画の中で、統合型地理情報システムの調査・研究を進める。(森市長)

- 他の質問 ●働く人を守る環境整備について ●高齢者ドライバーの支援について



\*GIS(地理情報システム):地理的位置情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や判断を可能とするシステム。
\*統合型地理情報システム:庁内LAN等のネットワーク環境のもとで、庁内で供用できる空間データを一元的に整備、管理し各部署で活用できる庁内横断的なシステム。

松岡 信生 議員

公明党



子育て

子どもの貧困対策として「学習塾」活用を

議員 年々増える「ひとり親家庭」や「就学援助」等を受けている家庭の子ども達を対象に、経済格差が学力格差に及ばないよう、高校進学を見据えて、民間の学習塾等を活用した学習支援を行う必要があると考えるがどうか。

市 新年度の予算編成の中で検討したい

子どもの学習支援は、生活困窮者自立支援法の「子どもの学習・生活支援事業」がある。将来への貧困の連鎖を断ち切るための制度であり、近隣市の先事例を検証し、新年度の予算編成の中で検討したい。(森市長)

- 他の質問 ●高齢者の移動の安全確保について ●障害児の福祉サービスについて

子育て

相談体制の拡充と産後うつ対策は

議員 子育て相談ができる拠点が今後4か所に増えるとのことだが、場所と人員配置は。

幼児だけの相談窓口ではなく、青少年も相談できる体制が必要ではないか。また産後うつ対策はどうするのか。

市 拠点センターの増設と宿泊型の産後ケアを

現チャッピーサポートセンターに加え、市役所とフラワー、ウッドイに拠点センターを設け専門職員を適正配置。その他地域は巡回・出張相談を行う。また乳幼児から青少年までの相談窓口は、相談機能を集約し充実を目指す。産後ケア対策は宿泊型ケアを検討する。(森市長)

- 他の質問 ●災害時の自助を支援する取り組みについて ●農業と福祉をつなぐ「農福連携」について

厚地 弘行 議員

新政みらい



財政

病院や学校など大規模施設の建設と財政計画

議員 市民病院、中学校、ごみ処理施設、Cブロックなど大規模な施設建設が予定されているが、いつどのような順番で行うのか。公債費は36億円で推移し下がっていないが、長期財政見通しはどうか。

市 大規模な投資の実施時期は分散し、財政負担の平準化

公債費は横ばいだが、令和3年度以降には減少する見込み。人口減少に伴う歳入の減少や社会保障費の増加などが予想されることから、大規模な投資の時期は分散させる必要がある。「(仮称)三田未来投資戦略」として整理する。(森市長)

- 他の質問 ●公共交通の諸課題について ●総合防災訓練プログラムについて ●児童手当の支給ミスについて



\*公債費:公債の償還や利子の支払いに要する経費(借金の返済のための経費)。

福祉

本庁舎内福祉相談窓口の設置を

議員 福祉は制度が複雑であり、市民はどこに相談に行けばよいかわからないことがある。本庁舎に福祉ニーズの対応ができる福祉コンシェルジュの配置と福祉相談窓口の設置について伺う。

市 福祉コンシェルジュ設置に向け検討する

少子高齢化の中、福祉に関する課題を抱える個人や世帯が増加傾向にあり、福祉コンシェルジュのような相談員の配置、適切な相談窓口への案内の必要性を感じている。本庁舎のどこにどのような体制で配置するか検討し、調整を進めていく。(入江福祉共生部長)

- 他の質問 ●令和2年度三田まつりの見送りについて ●認知症になっても希望を持って暮らせるまちづくりについて ●不登校児童・生徒とその保護者への支援について



\*コンシェルジュ:客が何でも相談できる窓口で、豊富な知識に基づき、それぞれにあった提案をする等のサービスを提供するもの。

西上 俊彦 議員

新政みらい



公共交通

地域交通のあり方について、市の考えは

議員 路線バスでの通学や地域住民の交通手段をどのように確保するのか。

又、赤字路線の補助金約4,581万円を違う形で地域交通に活かさないか伺う。

市 持続可能な交通ネットワークの構築を目指す

通学や地域住民のためのバス路線は、交通事業者と課題を共有し、連携を深め、適切に運行されるよう取り組む。また路線バスに頼らない新たな交通手段は最優先で取り組むべきと考え、『地域内交通検討支援プログラム』等の活用の拡大を図り、令和6年度までに10団体との協定締結を目指す。(森市長)

- 他の質問 ●有害鳥獣の現状について ●市街化調整区域内の規制について

防災

長期大規模停電時の三田市の水道は

議員 北海道胆振東部地震では水道の停電に対する水道施設の脆弱さが浮き彫りになった。全国的に見ても水道関係施設の62%が自家発電施設を備えていない。市水道の長期大規模停電への対策はどうか。

市 県や近隣市町と連携し飲料水確保に取り組む

市の古城浄水場にはないが、県営三田浄水場は自家発電機を備えており、母子地区を除く市内の給水区域には県の水の供給が可能で、母子浄水場は小型発電機で運転可能である。県や近隣市町と連携を図り飲料水確保に取り組む。(入江副市長)

- 他の質問 ●地域担当サポート職員について ●第3次三田市環境基本計画について

長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



病院

病院再編リストの兵庫中央病院について市は

議員 厚生労働省が発表した424病院再編リストに兵庫中央病院が挙がり、市民から心配の声がある。地域にとって必要な病院と考えるが市の見解を伺う。

市 地域事情が考慮されるよう国の動向を注視

兵庫中央病院の病床はセーフティーネット医療を行う上で必要なものと聞いている。また市民病院と医療連携を行う中で、地域医療を共に支えており、地域に必要な医療機関であることを認識している。

地域事情が考慮されたものとなるよう、市としても国の動向を注視していく。(入江副市長)

- 他の質問 ●人と猫が共生するまち三田をめざして ●幼児教育無償化による影響について